

## 1 研究題目

Barthel Index(BI)の項目である食事動作の予後予測指標としての有用性に関する後ろ向き調査

## 2 研究の対象

当院に入院した終末期がん患者

## 3 研究目的

当院に入院した終末期がん患者を対象に、患者背景(性別、年齢、原発部位、入院目的、入院期間など)、BIの項目である食事動作を予後予測指標と比較することで生命予後期間の予測指標としての有用性に関する検討を行う。

本研究は既存情報のみを用いる後ろ向きの観察研究で、新たなデータは取得しない。調査情報はパスワード等で制御されたコンピュータ等に厳重に管理する。なお、本研究は福山大学薬学部と共同研究を行い、それらの情報は他の機関へ提供することはない。研究結果は学会での発表及び学術雑誌へ論文にて発表する予定である。

## 4 研究期間

研究倫理委員会承認後～2030年12月31日

## 5 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景(性別、年齢、原発部位、入院目的、入院期間など)及びBI(Barthel Index)の項目、予後予測指標

## 6 研究責任者

薬剤師 岡崎 和子